



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# ライブドア (A)

5

2005年3月26日の午後、株式会社ライブドアの代表取締役社長兼最高経営責任者である堀江貴文は、ケビン山崎氏が運営するトレーニングジム「トータルワークアウト」でトレーニングをしながら、ライブドアの今後の戦略を考えていた。

10

ライブドアはニッポン放送の株式を買い進めており、議決権の過半数を既に獲得していた。堀江の考える「ネットとメディアの融合」を進めて行くためには今後どうすれば良いのか？突如現れた「ソフトバンク・インベストメントとフジテレビの資本提携」という事態にどう対処すれば良いのか？ライブドアという企業と株主にとって最善の策は何だろうか？

15

## 2005年2月8日

2005年2月8日、ライブドアは突如、東証二部上場のAMラジオ局であるニッポン放送の株式を35%取得したと発表した。

ライブドアは2月7日までにニッポン放送の発行済株式総数の5.36%にあたる1,756,760株を取得していた。さらに2月8日朝にToSTNeT-1による時間外の市場内取引により子会社のライブドア・パートナーズがニッポン放送の発行済株式総数29.63%にあたる9,720,230株を買い付けた事により、合計でニッポン放送の株式の34.99%を手中に収めた。<sup>※1</sup>

20

ニッポン放送の2004年3月期の売上高と経常利益は連結で1,094億円・108億円、単独で308億円、11億円である。フジテレビジョン、産経新聞社と共にフジサンケイグループの中核企業であり、フジテレビの筆頭株主として発行済株式総数の22.51%の株式を所有している。

25

本ケースは、クラス討議の資料とするために、慶應義塾大学経営管理研究科准教授 小幡 績によって作成された。経営管理の巧拙を記述したものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

30

Copyright © 小幡 績 (2021年12月作成)